

燦々

SANSAN
光り輝く



青年部穂別支部、流送競技と丸太切り競技で2冠を達成。

第18回 あびら夏!うまかまつり開催
～合併20周年を祝う夏の祭典 安平町の魅力を町内外へ発信～

特集

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.283



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272-2241
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2
FAX 0145-273-941

令和8年8月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai-kouiki.com
メールアドレス
info@ja-tomakomai-kouiki.com

印刷 株式会社須田製版

レシピ提供 ● 料理研究家 和田麻紀子

家族で楽しむおいしい一皿

常備菜にも使える夏野菜活用レシピ



ナスの揚げ浸しそうめん

とろとろでジューシーな
揚げナスは夏のごちそう

材料(2人分)

ナス	2本(160g)	そうめん	4束
油	適量	好みの薬味(大葉、ミョウガ、おろししょうが、ゴマなど)	適宜
だし汁(かつおだし)	200ml		
しょうゆ	大さじ2		
みりん	大さじ2		
砂糖	大さじ1/2		

作り方

- ①ナスはへたを取り、半分の長さに切ってから縦4等分にする。皮には斜めに隠し包丁を入れる。
- ②フライパンや揚げ鍋に油を深さ3cmほど入れて170度に熱し、①のナスを入れてひっくり返しながら両面にほんのり焼き色が付くまで3、4分揚げる。揚げ上がったらく油を切っておく。
- ③Aを鍋に入れて火にかけ、②のナスを入れて一煮立ちしたら火を止め、冷ます。
- ④そうめんを袋の表示時間通りにゆでて冷水(材料外)で締める。よく水気を切って、一人分ずつ器に盛り付ける。
- ⑤④に③をかける。上から好みの薬味をのせて出来上がり。

ポイント

ナスに隠し包丁を入れると皮の食感が良くなり、味が染みておいしくなります。Aの代わりに、かけつゆの濃度に希釈しためんつゆ(250ml)を活用するとお手軽です。

アレンジ

- ナスの揚げ浸し(作り方①～③)を多めに作って常備菜に
- カボチャやシントウ、オクラなど好みの野菜を加える
- ラー油や梅干しを加える



暑さで食欲がない日にも
おすすめ

ミニトマトとタコと大葉のマリネ

材料(2人分)

ミニトマト	100g	しょうゆ	小さじ1
タコ(ゆでたもの)	100g	砂糖	小さじ1/2
大葉	5枚	レモン汁	小さじ1
オリーブ油	大さじ1	塩・こしょう	少々

作り方

- ①ミニトマトは半分に、タコは一口大にカットする。大葉は適当な大きさにちぎる。
- ②全ての材料をあえて皿に盛り付け出来上がり。

アレンジ

- 乱切りにしたキュウリに塩少々をまぶして加える
- 大葉をバジルに替え、モッツアレラチーズを加えてイタリア風に
- 冷製パスタにあえる



▲女性部早来支部のおにぎり販売も大好評



▲2玉入りアサヒメロンを限定販売



第18回 あびら夏！うまかまつり開催 ～合併20周年を祝う夏の祭典 安平町の魅力を町内外へ発信～

▲子どもたちが挑戦！メロン早食い競争



▲白熱！メロン早食い競争(大人の部)

早食い競争」をはじめ北海道大学「縁」による迫力あるYOSAKOIソーラン演舞や地元団体によるステージ発表など、多彩な催しが行われた。ステージ前には大勢の観客が集まり、出演者へ惜しみない拍手が送られるなど、会場全体が笑顔と活気に包まれた。

農畜産物販売コーナーでは、JAとまこまい広域青年部追分支部によるアサヒメロンの限定販売のほか、JAとまこまい広域早来支所による味付ラムジンギスカンの販売も行われた。販売開始前から多くの来場者が列を作り、旬を迎えたアサヒメロンを買い求める姿が見られるなど、地域ブランドとしての人気の高さがうかがえた。ともに好評を博し、いずれも完売となった。

アサヒメロン販売では、昨年に引き続きゆうパックによる地方発送も実施。自宅用としてだけでなく、遠方に住む家族や親戚、友人への贈答用として利用する来場者も多く、発送受付には多くの申し込みが寄せられた。青年部員は販売や地方発送の受付、来場者への商品説明などを行い、旬を迎えたアサヒメロンの魅力を積極的にPRした。旬ならではの甘くみずみずしいアサヒメロンが全国各地へ届けられ、安平町自慢の特産品を広く発信する機会となったことに加え、生産者と消費者が直接ふれあう機会となり、地域農業への理解を深めてもらう貴重な場となった。

また、会場内に設けられた味付ラムジンギスカン焼肉コーナーでは、JAとまこまい広域早来支所が販売した味付ラムジンギスカンと、女性部早来支部が販売した「たんとう米」のおにぎりを一緒に味わう来場者の姿が多く見られた。地元食材を組み合わせた食事を楽しむ家族連れや観光客でにぎわい、安平町ならではの豊かな食の魅力を堪能していた。どちらも大好評で、用意した商品はすべて完売となった。

4日夜には恒例の花火大会が開催され、約1,200発の花火が夏の夜空を鮮やかに彩った。色とりどりの大輪の花火が夜空いっぱいに広がるたび、大きな歓声が上ががり、多くの来場者が夏の思い出となるひとときを楽しんだ。合併20周年を祝う記念の花火は、地域への思いが込められた華やかな演出となった。

5日の本祭では、お笑いタレントのキンタロー。さんによるステージで会場は大きな笑いに包まれ、演歌歌手のさくらまやさんによる歌謡ショーでは、力強く伸びやかな歌声が響き渡り、多くの観客が聴き入った。メインステージ周辺には幅広い世代の来場者が集まり、会場は終始大きな拍手と歓声に包まれるなど、盛り上がりを見せた。

2日間を通して、町内外から多くの来場者が訪れ、安平町の豊かな食や文化、人とのふれあいを楽しむ姿が随所で見られた。地域の農畜産物を味わい、ステージイベントを楽しみ、生産者や青年部員との交流を深めることで、安平町の魅力を改めて実感する機会となった。

同まつりは、地域の魅力を広く発信するとともに、生産者と消費者をつなぐ大切な交流の場となっている。節目に開催された今年のまつりは、多くの笑顔と活気に包まれながら盛況のうちに幕を閉じた。

燦々 SANSAN
光り輝く

No.283 CONTENTS

- 01 特集 第18回 あびら夏！うまかまつり開催
～合併20周年を祝う夏の祭典
安平町の魅力を町内外へ発信～
- 03 カメラレポート
- 09 理事会報告
- 10 ・期待の農力 石井淳司さん
・特定技能外国人のご紹介
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 配置薬 新商品&おすすめ商品のご紹介

裏表紙 家族で楽しむおいしい一皿
常備菜にも使える夏野菜活用レシピ



第43回むかわ町穂別流送まつりが開催され、青年部穂別支部が流送競技と丸太切り競技で優勝。ほべつメロン市や青年部による出店が行われた。

広域

日胆畜産共進会と麦試験圃場を視察

J Aとまこまい広域移動理事会実施

7月16日(木)、J Aとまこまい広域は移動理事会を管内の安平町早来地区で開き、ホクレン農業協同組合連合会主催の日胆畜産共進会(黒毛和種の部)と秋まき小麦の少量多回数施肥の試験圃場を視察したのち、当J A早来支所で理事会を行った。

北海道ホルスタイン共進会場で行われた日胆畜産共進会では、畜産部の職員が共進会の開催理由や体格審査のポイントなどを説明した。共進会は牛の体型や発育、健康状態、品種としての特徴などを審査評価し、丈夫で健康に育ち、将来にわたって優れた子牛を生産できる繁殖能力や、肉用牛として優れた資質を備えているかといった点を総合的に評価する。体格審査のポイントのひとつに発育と体型、もうひとつは資質と品位の観点から評価することを説明。会場では出陳された牛を見ながら、理事から畜産部の職員に牛の評価されたポイントを尋ねる様子が見られた。



▲共進会で牛の審査を見学(安平町早来)



▲試験圃場で説明を聞く理事ら(安平町早来)

広域

惜しくも初戦敗退

J Aとまこまい広域野球部

6月27日、ほくでん伊達スポーツ公園球場で第65回胆振管内J A野球大会が開催され、J Aとまこまい広域が参加するも初戦でJ Aとうや湖に敗れ、全道大会へ駒を進められなかった。昨年度優勝の当J A野球部はシードで第3試合から出場。第1試合でJ A伊達市を下したJ Aとうや湖との初戦を迎えた。



▲試合開始前に円陣で気合い入れ



▲三浦選手のピッチング



▲バッターボックスに立つ早坂部長



▲バットを振りぬく畠山選手

【J Aとうや湖との試合】初回のマウンドに立った三浦選手は、スリーベースヒットを打たれるなど一挙に5点を失ってしまふ。1回裏の攻撃では反撃を試み、新岡選手がフォアボールで進塁するも三振が続ぎ得点は入らず。2回表では先頭打者にライトへ打たれスリーベースヒットを許すが、サードの新岡選手、セカンドの南部選手、ショートの本田選手が好守備を魅せ相手チームに得点を許さなかった。3回の表にはホームランを放たれるなど、相手打線の強烈な攻撃を受ける。ツアアウトの場面で本田選手がマウンドに立ち、新岡選手までピッチングをつなげるもこの回に6点を失ってしまふ。4回表では2点を奪われる。全体を通して打線が振るわず、4回コールド0対13で敗退となった。

試合スコア

	1回	2回	3回	4回	合計
J Aとうや	5	0	6	2	13
J Aとまこまい広域	0	0	0	0	0

小牧

ディンプルアート製作研修開催

女性部若小牧支部・スマイルレディ

6月29日(月)、J Aとまこまい広域女性部若小牧支部は、ディンプルアート普及協会のインストラクターを招き、スマイルレディ製作研修を開催した。ディンプルアートとは車のフロントガラスの製造過程で出る廃材でできた超透明絵の具を使用したアートのことであり、SDGsの観点から注目を浴びている。ステンドグラスのような光沢や自然な凹凸感が出るのが特徴。筆を使わず専用の容器を用いて線画に色付けをしていくシンプルなお作業かつ修正も簡単にこなせるので老若男女問わず楽しめるのも魅力。

当日は9名の部員が参加し、講師の説明を受け、思い思いの作品作りに挑んだ。色を重ねたり、デザインを工夫したりしながら、鮮やかな作品が完成した。部員からは「初めての体験で、とても楽しかった」「子供も取り組めそうなので、親子で体験してみたい」との感想が寄せられた。



▲講師に作業を教わる部員



▲作業に取り組む部員



▲ディンプルアート作品

早来

農繁期の束の間にリフレッシュ

女性部早来支部日帰り研修開催

7月9日(木)J Aとまこまい広域女性部早来支部は日帰り研修を実施し、部員8名が参加した。日帰り研修を実施するにあたり、役員会で「広域管内の作物や施設について学びたい」という声があったため、今回の研修では追分アサヒメロン組合・安井貴志組合長の協力のもと、アサヒメロンの圃場を見学した。

安井組合長は「アサヒメロンは50年以上もの歴史があり、時代を超えて、多くの消費者に愛され、信頼を得てきた。今日は皆さんに見学していただき、アサヒメロンについて知ってもらえたら嬉しい」と話した。



▲集合写真



▲施設見学の様子

生育段階ごとに管理されたハウスを見学し、栽培管理方法を学んだ部員達は「そこまで手作業なの!」と播種から収穫まで、ほとんど手作業なことに驚いていた。午後からは、厚真町上野にある野菜共同集出荷施設と青果物集出荷予冷貯蔵施設にて、ブロッコリーとほうれん草の選果作業を見学。担当職員から選果状況や流通について説明を受けた部員達は「出荷した作物がどのように選果されているのか見たことがなかったの、見られて嬉しかった」と話した。

その後、千歳市にある北海道中央葡萄酒・千歳ワイナリーで見学ツアーに参加するなど、楽しさの中にもたくさん学びがある充実したひとときとなった。

追分

青年部追分支部 メロン・カンロ即売会

雨予報を吹き飛ばし、120箱が完売！

7月11日、JAとまごまい広域青年部追分支部は同JA追分支部駐車場において「メロン・カンロ即売会」を開催した。同即売会は、地場産農産物を通じて地域住民との交流を深めることを目的に毎年開催しており、地域住民から親しまれている恒例イベントである。

当日は雨予報だったものの、販売時間帯は曇り空となり、雨にあたることなく即売会を実施することができた。販売開始前から多くの来場者が列を作り、会場は開店前から活気に包まれた。



▲準備に励む青年部員



▲高品質なメロン

今回は、追分特産の「アサヒメロン」と「カンロ」を合わせて120箱を用意。販売開始に先立ち、橋本祥彰支部長は「雨予報ではありましたが、無事に開催することができました。青年部一丸となって完売を目指し、ご来場いただいた皆さんに喜んでいただけるよう頑張ります」とあいさつした。

定刻になると橋本支部長の合図で販売がスタート。来場者は自宅用として購入するほか、遠方に住む親戚や知人への贈答用として地方発送を利用する姿も多く見られた。会場は終始にぎわいを見せ、自分慢の旬の味を求める来場者が次々と訪れ、用意した120箱はすべて完売。生産者と消費者が直接ふれあう貴重な機会となり、地域農業の魅力を広くPRする一日となった。

厚真

厚真町花卉部会

出荷最盛期に向け、目慣らし会を実施

7月10日（金）、厚真町花卉部会（桐木洋光部会長）は出荷最盛期を目前に目慣らし会を厚真町上野多目的倉庫で実施し、町内の花卉生産者約15名の他に、各市場の関係者と胆振農業改良普及センター東胆振支所の職員が参加した。

目慣らし会に先立ち、町内花卉生産者の圃場巡回を行い、厚真町軽舞地区の大捕雅寿さんと片山雄一さんの圃場を回った。各圃場でトルコギキョウやアスター、菊などのハウスを見学し、生産者と各市場関係者、普及センター職員が活発に生育方法や状況について意見交換を行った。



▲圃場巡回でアスターの生育について意見交換（厚真町軽舞）



▲目慣らし会の様子（厚真町上野）



▲菊の前に意見交換している様子（厚真町軽舞）

圃場巡回後の目慣らし会では桐木洋光部会長が開会の挨拶をし、「出荷中のデルフィニウムやマムの生育は順調です。今後、高温予想があり生育管理が難しくなることが考えられますが、注意して出荷最盛期を迎えましょう」と話した。市場担当者から生産状況・販売状況等、JA職員から出荷運賃と花卉目慣らし・出荷規格について説明した。また、普及センター職員からは気温経過について、平年並みより高めに推移しており、降水量は4月末まで少ない時期が続く、3〜4月前半の圃場の土壌は乾燥状態かつ、6月のハウス内は気温差が大きい環境で花の生育にとってストレスがかかっていると思われと話した。今後の栽培管理は花飛びや奇形花、チップバインの原因となる高温、特に曇天後の急激な晴れに注意し、かん水や追肥・養分の補給、側窓・妻面・天窓の開放による換気、換気扇や遮光資材の利用で、高温や急激な気象変化に備えることが大切であると説明された。

目慣らし会終了後は厚真町上野選果場で懇親会を行い、生産者や市場関係者が交流を深めた。

厚真

米生産振興会厚真支部

水稻青空教室・水稻幼穂形成期生育圃場巡回を実施

JAとまごまい広域米生産振興会厚真支部（高橋清吾会長）は、6月30日（火）に水稻青空教室と水稻幼穂形成期生育調査を厚真町内で行った。

同日午前中、水稻青空教室を厚真町宇隆地区の高橋清吾会長の圃場で行い、同町の米生産者約20名が参加。胆振農業改良普及センター東胆振支所の職員が「厚真町土壌の傾向と対策」について説明し、稲の倒伏対策や厚真町の土壌に合った改善方法を示した。また、省力化技術として密播中苗栽培を紹介した。密播中苗栽培とは、育苗箱1箱あたりの播種量を2倍に増やし、移植時の苗取量を細かく設定することで、慣行よりも単位面積当たりの必要箱数を4〜6割削減する省力化技術である。育苗コストの削減、育苗面積の縮小、田植えの苗補給時間を縮小することができ、東胆振地区内で密播中苗栽培を導入する戸数・面積は増加傾向である。

今年から密播中苗栽培に取り組んだ高橋さんは「育苗ハウスを1棟減らすことができたし、田植え作業も楽になった」と話す。ただ、密播中苗栽培はあくまで省力化技術であり、軟弱な苗になりがちなことや欠株がやや発生することもあると注意喚起があった。



▲水稻青空教室の様子



▲水稻幼穂形成期生育調査を行う職員

厚真

女性部厚真支部加工部

おふくろみそ天地替え実施

7月13日（月）、JAとまごまい広域女性部厚真支部加工部は厚真町内のみそ加工施設にて同JAのオリジナル商品「おふくろみそ」の天地替えを実施し、部員9名が参加した。

天地替え作業は、熟成過程にあるみそを別の樽へ移し、上下を入れ替えるようにして行う。攪拌し全体を空気に触れさせることで、こうじ菌や酵母の働きが活性化し発酵・熟成を促進。また、原料には厚真産の米「なつぽし」と大豆「ユキホマレ」を使用。大豆を蒸す過程から米麹づくり、バック詰めに至るまでほぼ手作業で行う。添加物は一切使わず、大豆の甘みを感じられるまろやかな味に仕上がっている。



▲みそを攪拌し別の樽に移し替える様子



▲移し替えたみそを整える様子

今回実施したのは、令和7年の12月と1月に仕込んだみそ約125樽で、部員たちがそれぞれ手分けして作業を行った。佐藤美奈子部長は「みその熟成具合は順調で、今年もおいしいおふくろみそを皆様にお届けできたうれしい」と話す。出来上がった商品はAコープ厚真店や苫小牧市内のホクレンショップで11月頃に販売予定。

厚真

プラスチック資源循環のための
適切な処理に向けて

農業用廃プラスチック一斉回収(厚真地区)

7月22日・23日の2日に亘り、厚真町農業用廃プラスチック適正処理対策協議会は厚真町の上野地区にある馬鈴薯選果施設前で同町の生産者を対象に農業用ビニールや農業用ポリ(肥料袋・フレコンバック・苗箱など)の一斉回収を実施した。

当日は、積み下ろしの作業員として厚真支部の青年部員6名が駆けつけ、ダンブトラックで持ち込まれた廃プラを種類ごとに計量し、1日目は大雨の中、2日目は厳しい炎天下の中での作業となった。回収された廃プラはトレーラーに積み込まれ北斗市にある日本公防協の処理工場へ運ばれ再利用される。



▲応援に駆け付けた青年部が生産者持込の廃プラを回収(厚真町上野)



▲フォークリフトで回収された廃プラが山積みとなる(厚真町上野)

今回、回収された廃プラスチックは約55tで、11月には2度目の実施を予定しており、年間回収80tを計画している。なお、11月の回収分からは、処理コストの上昇もあり現行価格より6円/kg上乗せした価格へ改定する方針である。

JAとまごまい広域は、使用済みの農業用ビニール等の処理にあたって、各支所で行われる回収日に合わせて排出するよう継続した処理を生産者に呼びかけている。

穂別

商業施設「トナリエ北広島」で
農産物即売会を実施

青年部員が穂別の特産物をPR

7月11日、北広島市のJR北広島駅前の商業施設「トナリエ北広島」にて、いねキタヒロ協議会主催、青年部穂別支部(石崎大知支部長・協力「農産物即売会」が開催された。

この企画は、同協議会の地域活性化事業「いねキタヒロ presents 食の魅力発信プロジェクト」の一環で、食を通じて市内を盛り上げることが目的。

当日はエスコンフィールドで野球の試合があり、駅前には多くの人が行き交い、会場にもお客さんが訪れ、大いに賑わいをみせた。地域特産の「ほべつメロン」と「ほべつカンロ(ともりん)」の試食販売を行い、穂別の農産物をPRした。



▲メロンについて説明する石崎支部長



▲会場内の様子



▲施設の外に出てPR

協議会の担当者は「メロン販売は初めての経験でしたが、生産者の方と一緒に取り組めたので心強かったです。一から十までメロンを知っているの、話す内容に説得力があり、その姿には熱意を感じました。ご協力いただきありがとうございます」と話す。

石崎支部長は「今回の企画は大成功だったと思います。穂別のことを知ってもらおうと、最高の機会となりました。忙しい中集まってくれた部員の人々と協力いただいた方々に感謝します」と満面の笑みを浮かべながら話した。

穂別

第43回むかわ町穂別流送まつり開催

青年部穂別支部が9年ぶりとなる流送・丸太の2冠を達成

7月18・19日の2日間、穂別ふれあい公園をメイン会場に第43回むかわ町穂別流送まつり(同実行委員会主催)が開催された。

同まつりの目玉イベントである全道人間流送競技は、かつて木材を搬出する手段として用いられていた原木流送をアレ

ンジしたもので、人の背中を船頭が竹竿を巧みに操ってバランスを取りながら走りゴールまでの速さを競う競技。

会場横の道路で開催となった19日の流送競技には、町内の高校生を含む10チームが参加。あいにくの雨模様となったが、JA青年部チームは安定した走りを見

せ、記録タイムは2分1秒48秒をたたき出し、2位と8秒近く差をつけて優勝を飾った。

また、同日に開催された丸太切り競技においても、JA青年部チームが接戦を制して見事優勝を勝ち取り、9年ぶりに2冠を達成した。

会場内では穂別特産の「ほべつメロン」市も行われた他、JA青年部の出店や花火大会、ステージイベントなど多彩なプログラムが盛り込まれ、先人たちの歩んできた歴史を継承しながら、穂別の魅

力がぎゅっと詰め込まれたイベントとなり、町内外から訪れた多くの参加者たちを楽しませた。

最後に監督の伊藤剛史さん(34歳)は「ダブル優勝が出来てすごく嬉しい」と喜んだ。また、「農繁期のため夜しか集まる事が出来ないが、皆が心を一つにして練習を繰り返した結果が実を結んだ」と笑顔を見せた。



▲丸太切り競技で奮闘した青年部穂別支部



▲白熱した流送競技



▲表彰式で笑顔を見せる部員たち

そんさんがや「 期待の農力

前例のないことにも 恐れず



いし い じゅん じ
石井 淳司さん 厚真町豊沢



石井さんのホップを使用しているクラフトビール
新千歳空港で販売中

胆振管内や北海道全体で協力しながら、植物工場のように天候に関係なく栽培できるようにしたいと話す。また、ウイスキーの蒸留所を作りたいと目標を語る。そのために道内の蒸留所を訪れるなど、日夜勉強に励んでいる。

今後の目標

実際に就農して

就農当初はほうれん草といち

じゅん じ
就農のきっかけ
石井さんは「大阪府出身で阪神淡路大震災を経験していたこともあり、農業を通して厚真町の復興支援をしたい」と思ったと語る。もともと友人たちとクラフトビールを作る計画があり、それぞれ手分けして、石井さんは原料であるホップを栽培する。地ビールを製造することで厚真町のPRにつなげたいという。また、厚真町の子育て支援が手厚いことが決め手となり、移住、就農に至った。

就農のきっかけ

大阪府で美容師として働き、函館で勤めた後、厚真町へ移住。研修農場で3年間、いちごとうれん草の栽培を通して農業について学ぶ。
就農して4年目を迎え、厚真町の豊沢地区で妻の恵子さんと二人でいちごハウス5棟とホップを栽培する。中学生と高校生の子供たちを育てながら農業を営む。

農業のやりがい

「自分が作りたいものを食べた人が『おいしい』といってくれたらうれしいです」と笑顔で話す石井さん。また、クラフトビールについて、店先や田舎まつりで対面販売した際に「おいしい」といってもらえたり、毎年買いに来てくれるお客さんがいたりするとモチベーションも上がるという。就農する前もしてからも、町内外の関係者の方々に支えられており、感謝していると話す。

理事会報告

令和8年5月1日(金)に総合営農センター1号室で第5回理事会が開催され、次の事項について報告、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 3月末財務報告について
3. 組合員の異動について
4. 固定資産の取得、処分について
5. 支所の日と固定資産確認・車両管理点検実施について
6. 経営定期点検 7年度改善事項の対応状況について
7. JAバンク経営戦略シートの策定について
8. 羽賀アドバイザーの活動報告について
9. 令和8年度共済推進要領について
10. 令和8年度水稻作付意向調査及び非主食用米配分について
11. 令和8年度穂別活性化基金の運用について
12. 第2回および第3回経営指導委員会報告について
13. 穂別支所組合員カスハラ対策への対応について



- 議案第1号 行政庁に対する業務報告書の提出について
議案第2号 令和8年度ディスクロージャー誌策定について
議案第3号 要対策組合員への貸付と営農計画書の承認について
議案第4号 出資の減口と譲渡について
議案第5号 理事へのリース貸付について

特定技能外国人のご紹介

7月1日より11月30日まで、インドネシアから2名の派遣職員が入組しています。
職場や地域でお会いした際は、温かく迎えていただきますようお願いいたします。



氏名: ムー ザイニ
ニックネーム: ザイニ
国籍: インドネシア
年齢: 25歳
宗教: イスラム教
日本語レベル: 日常会話可
配属先: 総合支援課(農産業務担当)
居住地: 厚真町本郷
趣味・特技: バドミントン
好きな日本の食べ物: たこ焼き



氏名: ファジャール プリヤディ
ニックネーム: ファジャール
国籍: インドネシア
年齢: 19歳
宗教: イスラム教
日本語レベル: 日常会話可
配属先: 総合支援課(農産業務担当)
居住地: 厚真町本郷
趣味・特技: バドミントン
好きな日本の食べ物: カレーライス

【お願い】

- ・慣れない環境での生活・勤務となりますので、困っている様子を見かけた際は、温かくお声かけいただけますと幸いです。
- ・業務や生活に関するご相談・お気づきの点がございましたら、生活サポーターまたは業務サポーターまでご連絡ください。
生活サポーター: 企画管理部
業務サポーター: 農産部
- ・宗教上の理由により、豚肉及びアルコールは口にしません。歓迎会や食事の際は、ご配慮をお願いいたします。

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

秋まき小麦 適期・適量は種で 安定確収

それぞれの品種の能力を活かすためには、来春からの十分な追肥が必要です。

過繁茂や倒伏の心配をせずに追肥できるように、また凍上を防ぐためにも、適切な時期と量では種を行ってください。

ゆめちから ～遅まき厳禁～

凍上・雪腐病に弱いため、適期には種し、葉数確保が重要。
越冬前に十分な大きさにしておく。

目標

越冬前の葉数 6.0枚(5.5～6.5葉)

は種適期 9月16日～9月27日

は種量

は種日	は種量
9月17日	6.5kg/10a
9月23日	8.0kg/10a
9月27日	9.8kg/10a

越冬前茎数 1,500本/㎡を確保

※晩播は収量低下を招きます。

※極端な早まきは倒伏のリスクが高まります。

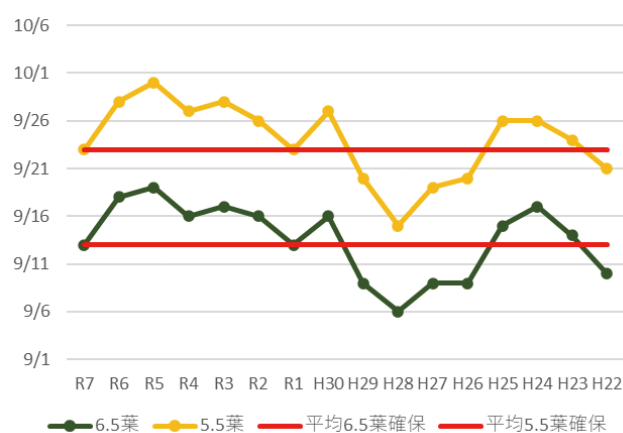


図1 H22～R7年ゆめちから
5.5葉、6.5葉確保日推移

きたほなみ ～薄まき推奨～

越冬前、越冬後共に茎数が増えやすいので、種を多くしない。
「起生期にしっかり追肥ができる姿」にする。

目標

越冬前の葉数 5.5～6.0枚

は種適期 9月20日～9月27日

は種量

は種日	は種量
9月20日	4.2kg/10a
9月24日	6.0kg/10a
9月25日	7.1kg/10a

越冬前茎数 800～1,250本/㎡

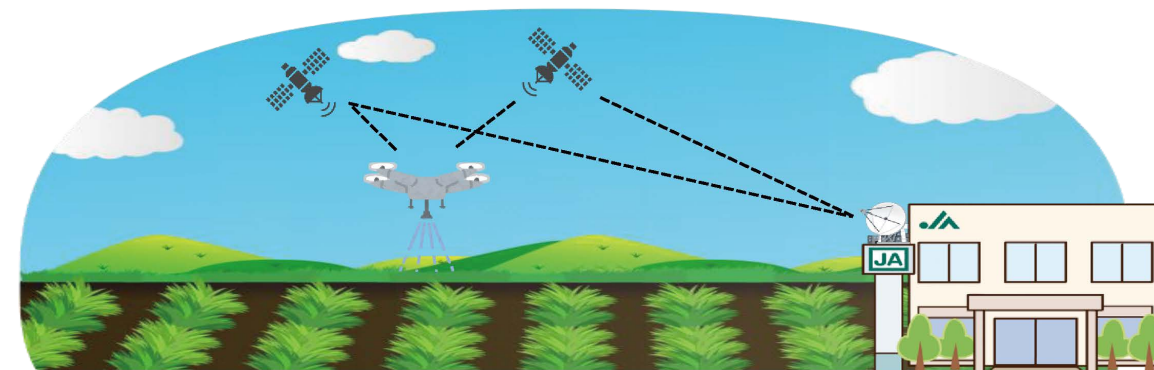
※は種が10月に入った場合も、近年の温暖な気候傾向から量は多くしすぎない。



図2 きたほなみ11月下旬
1,200本/㎡参考

ワンポイント営農情報

ドローン用 ホクレン RTK システム



○ホクレン RTK システムは、ドローンでも活用できます(対応の有無は、メーカーに確認ください)

基地局から補正データを受信し、非常に高い精度で飛行・散布する事ができます。

農業ドローンの RTK メリット

- ・重複散布や散布ムラを回避できます。
- ・常に機体を注視し、位置を微調整する必要がなくなるため、オペレーターの負担軽減となります。
- ・風が弱まる早朝や夕方のような視界が悪い状況でも、気にせず散布することができるため、適期防除が可能となります。(システムの利用には、申込が必要となります。最寄りの支所 営農までお問い合わせください。)

シリーズ No.68 おいしい米づくり

～ 登熟期の高温対策の徹底を ～

気象予報では9月の気温・降水量は平年並と予想されています。登熟期が高温でなくとも、製品歩留や品質への影響が大きいため、圃場の水分管理に注意が必要です。

【収穫前までの管理の注意点】

(1) 登熟期間の水管理

落水時期が早く、乾燥による亀裂が大きくなると、断根により吸水が低下し、調製歩留の低下や被害粒発生の危険性が高まります。

落水時期の目安は、乾きの良い水田では圃場全体で穂が屈んできた時期(出穂後25日以降)、粘土質の強い乾きが不良の圃場は、開花終了後となります。

その後は、収穫10日前まで、土壌表面に1cm以上の亀裂を入れない水管理が目標となります。

表 登熟期後半の水田土壌水分と土壌表面状態(上川農業試験場2001指導参考)

落水後登熟期間の 土壌の湿り具合	水田土壌の状態	収量への 影響	品質への 影響
pF2.5以上	作土に深い大亀裂が生成、根の切断が観察できる	×	×
pF2.4程度	作土に幅1cmくらいの亀裂が多数、足跡はつかない	▲	×
pF2.1～2.3	表面に小さい亀裂が出来る、わずかに足跡が付く	◎	◎
pF2.1以下	表面の乾燥、亀裂発生微、足跡が明瞭に残る	—	—

※ ◎:好適 ▲:境界領域 ×:不適 —:収穫機械走行に悪影響

(2) 刈遅れに注意

成熟期の目安は、出穂後積算気温950℃に達した日で、JA 管内では出穂後47日前後となります。しかし、出穂後50日以上たつと急激に被害粒が増加する傾向があるので、玄米による適期判定を行い、刈遅れを出さないことも大切です。

新商品&配置薬 おすすめ商品の ご紹介

みなさんの健康と美容のことは気にしていますか？
新しいお取り扱い商品とおすすめ商品を是非この機会にお試ください。



ビタミン12種類、ミネラル5種類、ヒアルロン酸を配合し、日々の不足した栄養補給に

新商品 栄養機能食品

マルチビタミン
ミネラル
&ヒアルロン酸

90粒 3,240円(税込)

販売者/常盤薬品株式会社



イチョウ葉エキス・ルテインを配合し、記憶力・集中力の維持をサポートし、また目の健康を守ります

新商品 栄養補助食品

イチョウ葉Q

90粒 7,560円(税込)

販売者/ダイト株式会社



つらい患部に直接効く
のどの痛み・ハレに

新商品 第3類医薬品

ストナ
のどスプレー

25ml
1,584円(税込)

販売者/佐藤製薬株式会社



かぜの11症状すべてにすぐれた効き目を発揮する、ご家庭の常備薬として適したかぜ薬です

新商品 指定第2類医薬品

新ルルス
<細粒>

8包 1,320円(税込)

販売者/ダイト株式会社



急性鼻炎やアレルギー性鼻炎による、鼻みず、鼻づまりやくしゃみなどの不快な症状を改善します

新商品 第2類医薬品

ヒストミン
点鼻薬

30ml 990円(税込)

販売者/小林薬品工業株式会社



おすすめ 第2類医薬品

葛根湯エキス
顆粒D

6包 880円(税込)

販売者/第一薬品工業株式会社



おすすめ 第3類医薬品

クレビタン
E300

100カプセル 6,160円(税込)

販売者/小林薬品工業株式会社



おすすめ 第2類医薬品

ビタラスター
3000EX

100ml×1本 198円(税込)

販売者/金陽製薬株式会社



おすすめ 指定第2類医薬品

レオボン
ADα

120カプセル 7,040円(税込)

販売者/明治製薬株式会社



おすすめ 指定第2類医薬品

パブロンス
ゴールドW
微粒

12包 1,705円(税込)

販売者/大正製薬株式会社



おすすめ 健康補助食品

酵素分解
牡蠣エキス
DX

550粒 34,560円(税込)

販売者/広栄ケミカル株式会社



おすすめ 第3類医薬品

リボナミン
ブライツ

120錠 2,750円(税込)

販売者/小林薬品工業株式会社

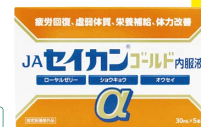


おすすめ 医薬部外品

JAセイカン
ゴールド
内服液α

30ml×5本 1,045円(税込)

販売者/大生堂薬品工業株式会社



JA 日誌

2026 8月

16日 日

17日 月

厚真支所組合員訪問

18日 火

第4回地区担当理事会 第5回監事会
第8回理事会 ホクレン意見交換会

19日 水

常参会主催協賛レース 第2回 JA 日胆地区女性協議会理事会
日胆青協藤女子大学農作業体験受入

20日 木

日胆畜産共進会(乳牛の部)
早来支所組合員訪問

21日 金

第3回 ALM 委員会 第3回コンプライアンス委員会
フィール、愛知経済連産地訪問

22日 土

23日 日

24日 月

第7回企画会議

25日 火

第2四半期事業ヒアリング

26日 水

日胆青協天使大学農作業体験受入

27日 木

たまや、全農バール産地訪問～28日

28日 金

第35回北海道肉用牛共進会

29日 土

准組合員イベント秋のいも掘り体験
たるまえサンフェスティバル～30日

30日 日

31日 月

第2回管理委員会
第2回生産委員会

2026 9月

1日 火

セントライ青果メークイン産地訪問

2日 水

第2四半期監事監査～4日

3日 木

4日 金

とまこまい広域防災の日

5日 土

厚真町胆振東部地震追悼式

6日 日

7日 月

第9回理事会
厚真支所人間ドック集団健診

8日 火

年金友の会連絡協議会パークゴルフ大会

9日 水

ホクレン肉牛市場
いなげや、全農バール産地訪問

10日 木

11日 金

ホクレン乳牛市場

12日 土

13日 日

札幌厚真会

14日 月

15日 火

令和8年度日胆ブロック地区連絡協議会
(危険物安全協会)苦慮備蓄視察

JA からのお知らせ

お詫びと訂正

前月発行の7月号、13頁に掲載しました令和8年度 新採用職員紹介について、配属先について誤りがありましたのでお詫びの上訂正させていただきます。正しくは購買部機械燃料課となります。

共済推進対応のお礼

組合員の皆さまにおかれましては、毎日の農作業大変忙しいことと存じます。日頃より JA 事業に対し特段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

5月21日からの白老支所(苫小牧西部を含む)を皮切りに全支所で行った「共済一斉推進」の際には、大変お忙しい中お時間を割いて頂き、誠にありがとうございました。

併せて、ご契約していただきました皆さまへも、心よりお礼申し上げます。

今後とも JA 事業へのご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、農作業中の事故・ケガなどには十分ご注意ください。豊稔の秋を迎えられますことを心よりお祈りいたします。

ASC 北海道試合スケジュール

8/30 北大 GP 14:00

第49回北海道サッカーリーグ2026

第11節 札幌市厚別公園陸上競技場(サブ補助競技場)

9/6 北海道十勝スカイアース 13:00

第49回北海道サッカーリーグ2026

第12節 帯広の森球技場

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。



月日	地区	氏名	享年
7/13	厚真町	山田 志津さん	88

ホクレン南北北海道黒毛和種市場

広域農協支所別取引成績(7月)

令和8年6月11日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	22	844,773	1,246	2,416
	雌	7	764,857	1,078	2,207
早来	去勢	21	809,619	1,248	2,328
	雌	20	715,400	1,070	2,224
厚真	去勢	28	824,929	1,250	2,287
	雌	6	745,333	1,157	2,147
穂別	去勢	21	831,000	1,251	2,351
	雌	17	728,412	1,069	2,286
追分	去勢	9	807,444	1,239	2,287
	雌	5	740,600	1,078	2,290
とまこまい広域	去勢	101	825,772	1,248	2,337
	雌	55	731,273	1,081	2,237
胆振管内	去勢	199	822,010	1,217	2,349
	雌	94	733,202	1,077	2,256
市場計	去勢	841	802,246	1,191	2,331
	雌	600	712,793	1,056	2,251



北海道厚生農業協同組合連合会
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地
受付時間 平日 8:30～17:00



0120-99-41-93

JA配置薬
LINE公式アカウント

